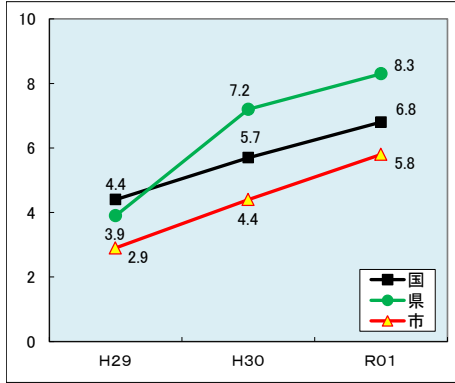


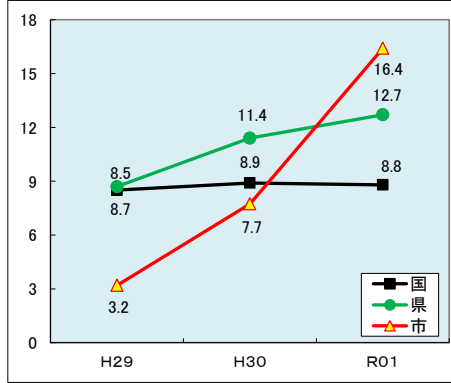
## 令和元年度「東広島市立の小中学校における生徒指導上の諸課題」の現状について

### 1 「暴力行為」の発生件数について

【小学校/1,000人あたりの発生件数】



【中学校/1,000人あたりの発生件数】



【本市暴力行為発生件数】

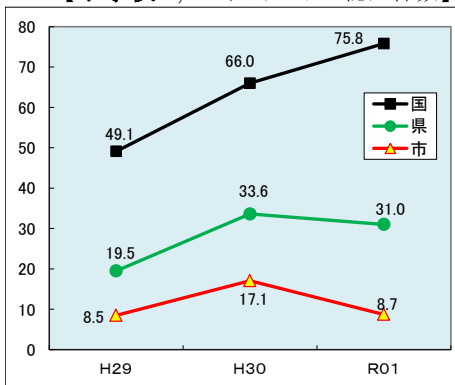
	小学校	中学校
H29	32件	15件
H30	50件	36件
R01	66件 (40件)	84件 (58件)
R02	(31件)	(32件)

※( )内は10月末の数値

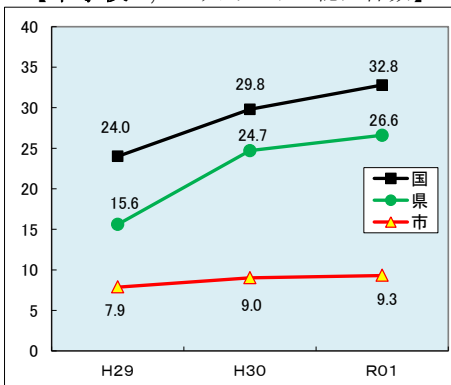
- 令和元年度、本市の小中学校における児童生徒1,000人あたりの暴力行為の発生件数は、小学校は国及び県の数値を下回っているが、中学校は、国及び県の数値を上回った。
- 本市の小中学校における1,000人あたりの発生件数は、県と同様、増加傾向が続いている。

### 2 「いじめ」の認知件数について

【小学校/1,000人あたりの認知件数】



【中学校/1,000人あたりの認知件数】



【本市いじめの認知件数】

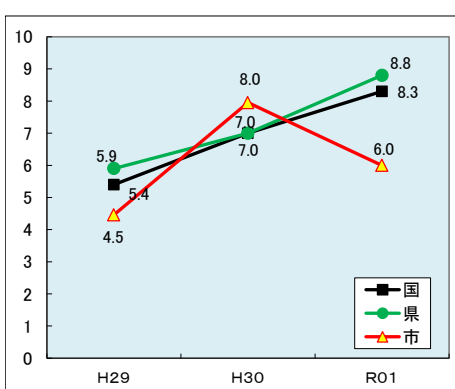
	小学校	中学校
H29	95件	37件
H30	193件	42件
R01	99件 (57件)	43件 (29件)
R02	(39件)	(22件)

※( )内は10月末の数値

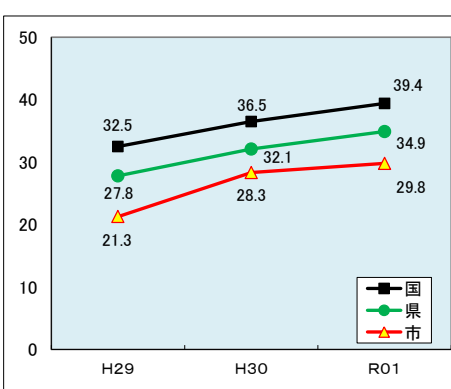
- 令和元年度、本市の小中学校における児童生徒1,000人あたりのいじめの認知件数は、国及び県の数値をいずれも下回っている。
- 全国の児童生徒1,000人あたりのいじめの認知件数は、本市の小中学校における認知件数の小学校で8.7倍、中学校で3.5倍である。

### 3 「不登校」の児童生徒数について

【小学校/1,000人あたりの不登校児童数】



【中学校/1,000人あたりの不登校生徒数】



【本市不登校児童生徒数】

	小学校	中学校
H29	50人	100人
H30	90人	132人
R01	69人 (35人)	138人 (100人)
R02	(40人)	(104人)

※( )内は10月末の数値

- 令和元年度、本市の小中学校における児童生徒1,000人あたりの不登校児童生徒数は、国及び県の数値を下回っている。
- 国及び県の不登校児童生徒数は増加しているが、本市の小中学校における不登校児童数は、減少している。